

JICAベトナム事務所 月報

第189号（2026年4月号）
2026年5月12日発行

本月報に関するご意見・ご要望は
vt_oso_rep@jica.go.jp までお送り下さい

Website（日・越・英）：
<https://www.jica.go.jp/overseas/vietnam/index.html>

Facebook（越）：
<https://www.facebook.com/jicavietnam/>

発行：JICA ベトナム事務所広報班

目次

- ベトナム向け円借款貸付契約の調印
北部・山岳地域への小規模インフラ整備により
貧困削減・格差是正および気候変動への強靱性強化に貢献 3
- 中部ベトナムの安全と発展を支える洪水対策マスタープラン
をダナン市で議論 4
- 「地方中小零細事業者支援事業」
クロージングセレモニー（融資実行完了式）の実施 5
- ホーチミン市師範大学で、STEAM 教育の実践成果を発表 6
- 海外協力隊 2025 年度 3 次隊 4 名がベトナムに到着 7
- ベトナムの気候変動対策に関する技術協力
第 1 回合同調整委員会を開催 8
- KICK-OFF OF PHASE 2 UNDER JICA PROGRAM ON
STRENGTHENING CAPACITY IN PATENT AND
TRADEMARK EXAMINATION AT IP VIETNAM 9

ベトナム向け円借款貸付契約の調印 北部・山岳地域への小規模インフラ整備により 貧困削減・格差是正および気候変動への強靱性強化に貢献



文書交換式(左から:高市総理大臣、小林所長、チャン・クオック・フォン財政副大臣、レ・ミン・フン首相)写真出典:内閣広報室

JICAは2026年5月1日、ベトナム政府との間で「災害に対して強靱な農村開発事業」及び「北部山岳・丘陵地帯における地域コミュニティの生産支援のための気候変動適応インフラ整備事業」の円借款貸付契約(Loan Agreement: L/A)を調印しました。各事業の概要は以下のとおりです。

JICAは今後もベトナムにおける農村開発及び北部山岳・丘陵地帯における地域コミュニティの生産活動への協力をしていきます。

* 災害に対して強靱な農村開発事業
(借款金額:215億9,000万円)

本事業は貧困層の多い北部山岳地域の5省を対象に小規模基礎インフラ(道路、灌漑、河川護岸)を整備することにより、公共サービス、市場へのアクセス改善、農業生産性向上及び洪水被害軽減を図り、もって同地域の生活環境の改善、格差是正及び気候変動へのレジリエンス強化に寄与することを目的としています。

* 北部山岳・丘陵地帯における地域コミュニティの生産支援のための気候変動適応インフラ整備事業
(借款金額:176億6,600万円)

本事業は、貧困層の多い北部山岳地域の4省を対象に、小規模基礎インフラ(道路、灌漑、給水)を整備することにより、公共サービス、市場などへのアクセス改善、農業生産性向上及び衛生的な給水能力向上を図り、もって同地域の生活環境の改善、格差是正及び気候変動へのレジリエンス強化に寄与することを目的としています。

ベトナムの安全と発展を支える洪水対策マスタープランをダナン市で議論

2026年4月9日、ダナン市にて、中部ベトナムを代表する河川、Vu Gia-Thu Bon 川流域の統合洪水対策マスタープランに関する会議が開催されました。

本会議にはベトナム農業・環境省(MAE)のグエン・ホアン・ヒエップ副大臣、ダナン市人民委員会チャン・ナム・フン副委員長が、日本からは在ダナン日本国総領事館森総領事、JICA 関係者が参加しました。

Vu Gia-Thu Bon 川流域は、中部経済の中枢を担うダナン市に加え、世界遺産ホイアン市を抱える地域であり、中部ベトナムにおいて、きわめて重要な役割を果たしています。

一方で、台風が頻繁に通過する経路に位置していることに加え、極めて複雑な河川システムと水を流しにくい地形的な特性から、たびたび深刻な洪水に見舞われており、2025年には犠牲者14名、浸水家屋数76,000戸という甚大な被害が生じました。

加えて、近年は気候変動の影響により豪雨の頻発化・激甚化の懸念も高まっていることから、経済発展を阻害する洪水のリスクへ事前防災投資を通じて策定していくことが非常に重要です。

今回の会議では、JICAの協力を通じて策定中の統合洪水対策マスタープランで提案する具体的な対策案について説明を行い、活発な意見が交わされました。また、ベトナム政府の事前防災投資に対する熱心さを改めて感じる機会となりました。

これら対策事業の推進は、ダナン市やホイアン市を含む地域の安全度上昇に寄与し、本邦企業を含む民間投資促進や観光客の安全確保を含む同地域の着実な経済発展に貢献することが期待されます。

今後、本会議で挙げられた地方政府・関係機関からの意見を取りまとめ、2026年度中のマスタープラン最終化を図ります。

JICAは今後もベトナム政府およびダナン市と緊密に連携し、防災分野における日本の知見と経験を活かしながら、中部地域を含むベトナム全体の災害リスク削減に貢献してまいります。

プロジェクト概要はこちら:

<https://www.jica.go.jp/oda/project/202004435/index.html>



会議の様子

「地方中小零細事業者支援事業」クロージングセレモニー(融資実行完了式)の実施



クロージングセレモニー(融資実行完了式)の様子

2026年4月13日、国際協力機構(JICA)は Joint Stock Commercial Bank for Investment and Development of Vietnam (BIDV)との間で実施している海外投融資「地方中小零細事業者支援事業」のクロージングセレモニー(融資実行完了式)を実施しました。

本融資契約は、2025年12月19日に両者間で締結され、中小零細企業向けの中長期資金の供給拡大が促進され、特に農村部で事業を展開する企業に対する金融アクセスの強化を目的としたものです。

JICAによる融資額は5,000万米ドルであり、アジア開発銀行(ADB)および他の商業銀行が参加する総額1億2,000万米ドルの協調融資の一部を構成しています。本融資は、ベトナムの金融システムにおける資金供給能力の強化に貢献するとともに、包摂的かつ持続可能な経済成長を後押しするものです。

式典において、本融資が特にベトナムにとって重要な経済分野である農業分中小零細企業を中心に、金融資源へのアクセス向上に寄与し、生産活動の拡大および人々の所得向上につながることへの期待が関係者から表明されました。

融資実行完了式は、プログラム実施における重要な節目を示すものであり、同時に、民間セクターの発展促進、金融包摂の強化、そして特に農村部や困難な地域における経済の強靱性向上に向けて、JICAがベトナムの金融機関と長期的に協力していくというコミットメントを改めて確認するものです。

ホーチミン市師範大学で STEAM 教育の実践成果を発表



実践報告会の様子

2026年3月28日、ホーチミン市師範大学において、STEAM教育(※)能力強化事業に参加するコア教員による教育実践発表会が開催されました。

本活動は、大阪教育大学とホーチミン市師範大学が共同で実施している草の根技術協力事業「ホーチミン市師範大学初等教育学部教員および学生等を対象としたSTEAM教育能力強化事業」(実施期間:2023年11月～2026年11月)の一環として実施されています。

当日は、同大学の教員やホーチミン市内の小学校教員をはじめ、大阪教育大学および岡山理科大学の教授等、約30名ほどが参加し、互いの教育実践を学び合う貴重な機会となりました。

実践発表では、8グループによるプレゼンテーションと2グループによるパネルセッションが行われ、STEAM教育を実際の授業を取り入れるまでの過程やその成果・課題、さらに他教員へ共有・普及するための工夫など、教育現場における具体的な実践例が紹介されました。小学校教員からは、「STEAM教育によって、生徒のコミュニケーション能力や問題解決能力が向上していることを実感している」といった意見も聞かれ、STEAM教育の効果を改めて確認する機会となりました。

また、実践発表後には本活動に有志として協力いただいている岡山理科大学により、リサイクル材料を活用した体験型ワークショップが実施されました。身近な材料を使った体験活動を通して、参加者はSTEAM教育のエッセンスをどのように授業へ取り入れるかについて、多くのヒントを得ることができました。

今回の教育実践発表会の参加者からは、「探究的かつ教科横断的なSTEAM教育が、生徒の学習意欲を高め、思考力の育成に大きく寄与していることを実感した」、「STEAM教育に取り組むことの意義と重要性について、改めて認識できた」などの前向きな声が多く寄せられました。

今年度は事業終了に向け、本邦研修やオンラインを活用しながら、コア教員へのフォローアップを進めていく予定です。

(※)STEAM教育とは、科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術(Arts)、数学(Mathematics)等の各教科での学習を、実際の社会における問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育のこと

事業概要

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/kusanone/countrv/project/n_files/2024_0110_vie.pdf

海外協力隊 2025 年度 3 次隊 4 名がベトナムに到着

2026 年 4 月 15 日、2025 年度 3 次隊の 4 名の協力隊員がベトナムに到着しました。

今後、各地での活動開始に向けた準備を行います。活動概要は以下のとおりです。

・井上拓人(コミュニティ開発／チュンタム地区人民委員会)

チュンタム地区の農村地域の村において展開されているコミュニティ観光開発促進への協力を行い、地域住民の持続的な生計向上に取り組みます。

・岩崎百花(言語聴覚士／カントー中央総合病院)

言語聴覚療法を実施するとともに、同僚の知識・技術を向上させ言語聴覚療法サービスの基礎作りに貢献することが期待されています。

・岩澤萌寧(マーケティング／ベトナム女性博物館)

広報、マーケティングの活動を行い、展示内容改善の提案や広報ツールの制作、ウェブサイト翻訳、期間展やイベントの企画や実施への協力も行います。

・林香子(観光／ランビエン-ダラット地区人民委員会)

任地の外国人観光客誘致に向けた広報や観光促進活動および農業など現地の産業とコラボした新たな持続可能な観光開発への協力を行います。

4 名の活躍にぜひご期待ください！



ベトナムに到着した海外協力隊員 4 名

気候変動対策に関する技術協力 第 1 回合同調整委員会を開催



第 1 回合同調整委員会の様子

2026 年 4 月 24 日、技術協力「パリ協定に係る『自国が決定する貢献(NDC)』実施・モニタリング支援プロジェクト」(SIM-NDC)の第 1 回合同調整委員会を開催しました。

本会合にはベトナム農業環境省(MAE)気候変動局をはじめ、関係省庁の担当者や JICA 専門家チームが出席し、プロジェクトの活動計画や実施体制について共有・確認を行いました。

本プロジェクトは、ベトナム政府が掲げる 2050 年ネットゼロ排出目標の達成に向けて、NDC の実施およびモニタリング能力を強化することを目的としています。

事業所レベルの温室効果ガス排出量報告システムの構築をはじめ、分野別の NDC 進捗管理や、民間企業による温室効果ガス削減計画の策定への協力などに取り組んでいます。

JICA は今後もベトナム政府および関係機関と緊密に連携し、気候変動対策の実効性向上に貢献してまいります。

今後の SIM-NDC プロジェクトの活動に、ぜひご注目ください！

KICK-OFF OF PHASE 2 UNDER JICA PROGRAM ON STRENGTHENING CAPACITY IN PATENT AND TRADEMARK EXAMINATION AT IP VIETNAM

In 10 April, 2026, The kick-off event for Phase 2 focusing on trademarks of JICA program on strengthening capacity in patent and trademark examination at the Intellectual Property Office of Vietnam (IPVN) was held at IPVN with the participation of representatives from IPVN and JICA.

The program spans four years, comprising two years for patents and two years for trademarks, with an aim to enhance the efficiency of patent and trademark application processing and strengthen the capacity of IPVN examiners.

In the trademark phase, activities will be carried out along the following three pillars: Examining and piloting methods to improve the trademark examination process; Creating quality control documents for trademark examinations; and Holding seminars and workshops to improve trademark examination skills.

On this occasion, Ms. Naito Junko – JICA new long term expert on trademark, pledged to contribute to the development of trademark examination in Vietnam during her two-year term. Mr. Nguyen Van Bay, Deputy Director General of the Intellectual Property Office, expressed his high appreciation for JICA's program and voiced his expectation that the program would contribute to enhancing the capacity and effectiveness of trademark examination, improving application processing procedures, and better meeting the needs of the business community.

Mr. Nishikawa Naotaka, project formulation advisor from JICA Vietnam office, highlighted the importance of the project and expressed his confidence that close cooperation between IPVN and JICA expert would lead to significant progress in trademark examination in Vietnam.

Over the past 25 years, JICA has cooperated with IPVN in 5 official development assistance (ODA) projects, including:

1. Project for Modernization of Industrial Property Administration (MOIPA, 2000-2004)
2. Project for Utilization of Intellectual Property Information (UTIPINFO, 2005-2009)
3. Project for Strengthening the Enforcement of Intellectual Property Rights in Vietnam (2012-2017)
4. Project for Strengthening Capacity in Industrial Property Examination in IP Viet Nam (2021-2023)
5. Program for Strengthening capacity in patent and trademark examination in IP Viet Nam (on-going, 2024-2028).

Press Release about the patent phase
[20260320JICASUPPORTSVIETNAMINSTRENGTHENINGPATENTANDTRADEMARKEXAMINATIONCAPACITY_3.pdf](#)



Group photo